

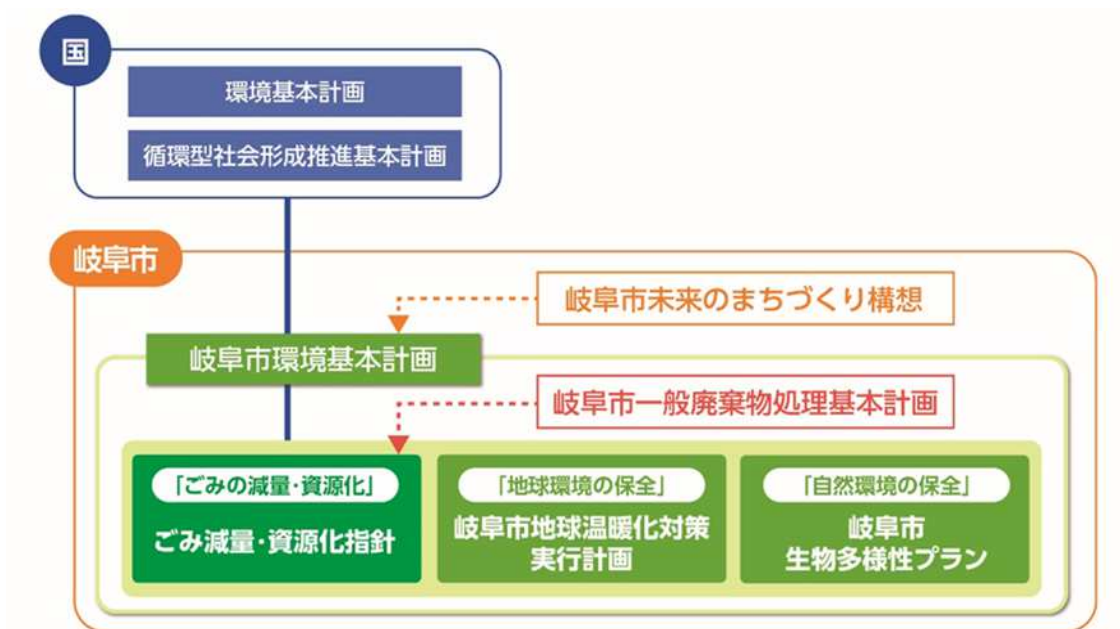
ごみ減量・資源化指針の延長について

1 指針の概要

(1) 指針の位置付け

国においては、平成 15 年 3 月に「第一次循環型社会形成推進基本計画」を閣議決定し、限りある資源の消費を抑制し、環境への負荷が低減される「循環型社会」を形成することを目指した施策を推進しています。

本市では、「環境と調和する、人にやさしい都市岐阜」を目指し、「循環型社会の構築」を実現するため、ごみ減量・資源化施策の行程を示した「ごみ減量・資源化指針」を策定しています。



(2) 計画期間

令和 4 (2022) 年度～令和 7 (2025) 年度

(3) 取り組み目標

令和 7 (2025) 年度までに ごみ焼却量 10 万 t 以下

(4) 基本理念

ごみ減量に対する私たちの活動する力を集約し、市民、事業者及び市が一体となって、ごみ減量・資源化を進めていく

(5) 基本方針、基本施策及び6つの作戦

基本方針 1

ごみの発生を抑制する仕組みをつくる

- **基本施策 1** 毎日の生活の中でごみ減量意識を習慣化する
- **基本施策 2** ごみ排出量に応じた負担を公平にする

基本方針 2

ごみの中の資源を循環し、再利用する

- **基本施策 3** 再利用できる資源をごみの中から抜き出す
- **基本施策 4** 温暖化対策に向け、ごみの減量の取り組みを進める

基本方針 3

地域の絆の中で、ごみ減量を進める

- **基本施策 5** 生活様式にあわせた資源分別の機会をつくる
- **基本施策 6** ごみ減量の情報を共有できる仕組みをつくる



3つの基本方針と6つの基本施策を着実に推進していくため、
具体的な取り組みを示す「6つの作戦」を掲げている

ごみ1/3減量大作戦市民運動を展開

- 作戦 1** 多様な資源ごみ回収を促進する
- 作戦 2** 紙ごみを減らす
- 作戦 3** 生ごみを減らす
- 作戦 4** プラスチックごみを減らす
- 作戦 5** 事業系ごみを減らす
- 作戦 6** ごみ処理有料化制度の導入を検討する

2 指針の延長

令和 8 年 10 月よりごみ処理有料化を開始することから、新たな指針については、ごみ処理有料化にあわせて取り組む各施策を盛り込んでいくため、令和 8 年度中に策定し、計画期間を令和 9 年度からとします。

そのため、現行のごみ減量・資源化指針を 1 年延長し、計画期間を令和 8 年度までとします。

< 計画期間 >

【変更前】 令和 4（2022）年度 ～ 令和 7（2025）年度

【変更後】 令和 4（2022）年度 ～ 令和 8（2026）年度

< スケジュール >

年度	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
ごみ減量・資源化指針	← 現指針計画期間 →				延長 ／ 現指針延長策定	← 新指針計画期間 →			
	現指針改定								

< 目標 >

これまで、作戦 1 から作戦 5 のごみの減量施策の実施により、令和 7 年度のごみ焼却量を 10 万 9,000 トンと見込み、さらに、全市的に「ごみ 1/3 減量大作戦」市民運動を展開することで、ごみ焼却量 10 万トン以下にすることを目指してきました。

令和 8 年度も、引き続きごみ焼却量 10 万トン以下を取り組み目標とします。

3 作戦ごとの削減量（ごみ減量・資源化指針アクションプランより）

【追加】

年度	R2 実績 (基準年度)	R4 目標	R5 目標	R6 目標	R7 目標	R8 目標
作戦 1 多様な資源ごみ回収の仕組みをつくる						
家庭系 普通ごみ・ 粗大ごみ 排出量	84,406t (—)	79,299t (▲5,107t)	77,202t (▲7,204t)	75,105t (▲9,301t)	72,987t (▲11,419t)	62,358t (▲22,048t)
作戦 2 紙ごみを減らす						
家庭系 普通ごみの 紙ごみ量	27,136t (—)	26,436t (▲700t)	25,735t (▲1,401t)	25,035t (▲2,101t)	24,331t (▲2,805t)	19,947t (▲7,189t)
作戦 3 生ごみを減らす						
家庭系 普通ごみの 生ごみ量	14,606t (—)	14,021t (▲585t)	13,436t (▲1,170t)	12,851t (▲1,755t)	12,263t (▲2,343t)	10,737t (▲3,869t)
作戦 4 プラスチックごみを減らす						
家庭系 普通ごみの プラごみ量	17,143t (—)	13,329t (▲3,814t)	13,115t (▲4,028t)	12,901t (▲4,242t)	12,685t (▲4,458t)	12,601t (▲4,542t)
作戦 5 事業系ごみを減らす						
事業系 普通ごみ 排出量	34,271t (—)	33,974t (▲297t)	33,626t (▲645t)	33,278t (▲993t)	32,924t (▲1,347t)	33,445t (▲826t)

※ (▲ t)は R2 年度比の削減量。

※ 作戦 1 は、作戦 2～4 の削減目標値を含む。